

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
3	関 明美（2）	<p>1. 空き家問題から見る富士駅北口第一地区市街地再開発計画の課題と子や孫に残す価値ある「まち」について</p> <p>本市では富士駅北口第一地区に再開発事業（以下、「本事業」という。）が計画されている。</p> <p>本事業は駅前の古くなった複数のビルを集約し、複雑な道路を利用しやすくなるように整えるとともに、駅を降りて正面に富士山が見えるよう設計し、駅を利用する皆さんを温かく歓迎できるよう工夫されている。また、駅直結の2階部分にはイベント広場と店舗、1階部分には専門学校と店舗が計画され、18階建ての分譲マンションと駐車場を備え、駅直結の利便性の高い生活が送れるよう駅前の再開発ならではの魅力も備えている。本事業の成功を私も期待しているところである。</p> <p>一方で課題もある。それは人口減少である。およそ50年後には日本の人口が今の69%になるという統計が出ており、残念ながら日本の人口が増加に転じることは期待できない。この人口減少社会において、今問題となっているのは空き家である。本市では、既に1万4000戸もの空き家があるという統計が出ており、今後も増加の一途をたどることが想定される。空き家となった住宅を所有することになった経緯は「相続」が55%を占めている。私たちの世代以上に子供世代、子供世代以上に孫世代が売りたいたくても売れない、貸したくても借り手が見つからないなど問題がより深刻になるおそれがある。本市においては、既にこの空き家問題については様々な対策を講じ、市民の皆さんの相談に応じているところである。</p> <p>本事業においては分譲マンション（130戸）が計画されているが、ここにも課題はある。</p> <p>この開発には多額の税金が投入され、前述したとおりの公共貢献が期待されているが、本市の空き家事情に鑑みれば、市民、特に若い世代に対して、この事業の必要性を丁寧に説明する必要があると考える。</p> <p>そこで、本事業の成功にはマンションの老朽化を想定した長期的な視点と商業施設の採算性の確保が必要と考え、以下質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本事業の公共性（目的、必要性など）は何か。 (2) この事業の成果指標は何か。 (3) 分譲マンションの老朽化を見据えた管理計画についてはどのように指導しているか。 (4) 商業施設の床が埋まらない事態が将来発生した場合、市は介入するのか。 	市長 及び 担当部長